



「ふるさと研究ニュース」は、市民のみなさんに、所沢のことを知っていただける機会や情報をお届けする情報紙です。所沢をもっと知りたい方、ぜひご活用ください。

## ◆令和 7 年秋から年末にかけてのイベント

- ・ 10 月 5 日(日)午後 2 時～：三ヶ島菫子資料室講演会  
「菫子と白蓮～同時代の恋のうた～」三ヶ島まちづくりセンター
- ・ 10 月 11 日(土)午後 1 時半～：市指定無形民俗文化財「岩崎簞獅子舞」奉納 瑞岩寺(山口 400 番地)
- ・ 10 月 11 日(土)・12 日(日)：ところざわまつり ※市制 75 周年を記念して 2 日間開催  
11 日(前日祭) 町内会ごとに山車のひきまわし、居ばやし等
- ★御幸町、元町本町、有楽町山車は市指定文化財※御幸町山車では 10 年ぶりに二代目原舟月作人形「関羽・周倉」を披露(11 日午前 10 時～午後 3 時 マルエツ所沢御幸町店前)
- ★市指定無形民俗文化財「重松流祭ばやし」上演(11 日正午～エミテラス所沢 2 階おまつりステージ)  
12 日(本祭) 山車のひきまわし、お囃子演奏、居ばやし等
- ・ 10 月 11 日(土)から 国登録有形文化財の「旭橋」復元電灯の点灯 など



受講申込受付中  
くわしくは所沢市  
ホームページを見てね

## 《秋季企画展のご案内》

### 所沢の昭和 100 年 ～駆けぬけた激動の時代～

期間：9 月 30 日(火)～11 月 16 日(日) ※月祝日は休館  
午前 9 時 00 分～午後 4 時 30 分

場所：生涯学習推進センター3 階 企画展示室、常設展示室

関連講座：「所沢の昭和 100 年～ここだけの話～」11 月 1 日(土) 午後 2 時から 4 時

場所：生涯学習推進センター2 階 学習室 201

講師：木村立彦(文化財保護課)

※先着 60 名 10 月 1 日(水) 午前 9 時から電話または電子申請受付

☎文化財保護課へ〔04-2991-0308(土日祝休)〕

電子申請はこちらから



西暦 1926 年 12 月 25 日から元号が「昭和」になりました。仮に昭和が続いていたら、今年はちょうど昭和 100 年！同じ時代を共にした人と、あるいは親世代の過ごした所沢を見に、生涯学習推進センターへいらっやしませんか。

写真集も 9 月 30 日から発売予定！(A4 判・50 頁・600 円)

写真でふりかえる

### 所沢の昭和 100 年



所沢市教育委員会

#### 第 1 部 年代編

1. 昭和の幕開けと所沢
2. 戦争の時代と戦時下の合併
3. 復興の歩みと基地の町へ
4. 高度経済成長の始まりと変わりゆく地域
5. 住宅都市化と基地返還—人口 10 万人
6. 所沢らしさの登場—人口 20 万人へ
7. 人口 30 万都市となって…(ほか)

#### 第 2 部 なつかし編

- ・ 自然とともに
- ・ 町の記憶
- ・ ふえる人口
- ・ くらしと年中行事
- ・ あんな風景、こんな風景

なつかしの町の景色も見られる！



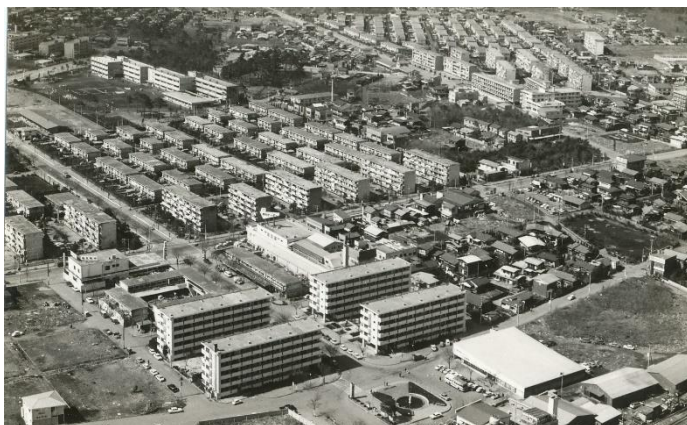
今年は、元号が「昭和」になって 100 年に当たります。元号は「平成」「令和」と変わりましたが、市の人口の 7 割近くは昭和生まれの世代であり、時代の懐かしさを感じる人も多いと思います。

所沢が大きく変わったのは昭和 30 年代、40 年代の高度経済成長期でした。100 年間の人口の推移を見ても、5 年ごとの増加率が最も高かったのが昭和 40 年から 44 年で、前の 5 年間のおよそ 1.5 倍でした（「令和 6 年度 所沢市統計書」より）。

人口急増で象徴的な出来事が日本住宅公団（以下「公団」。現在の UR 都市整備機構）の新所沢地区への進出でした。ご存知のように、戦後の住宅不足を解消するために公団が設立され、東京近郊に次々と集合住宅が建てられました。このころから団地や団地族という言葉が流行りました（※）。

新所沢団地が建設された一帯はかつて雑木林が広がり、江戸時代は上新井村の新田場で「松原」と呼ばれていた地域です。昭和 32（1957）年、公団による区画整理が始まり、最初に 2,500 戸規模、24 万坪余の面積が開発され、35 年に完成しました。当時入居した人の話によると、34 年に池袋で抽選会がおこなわれ、当選したものの、場所は山林が多い地域だと聞かされ親が心配になり現地を見に行ったそうです。

当時の新所沢団地の集合住宅は 1 戸あたり 1DK と 2DK のタイプがあり、2DK は台所と食事スペースを兼ねたダイニングキッチンがあり画期的な間取



昭和 39 年頃の新所沢団地（写真提供：肥沼金治氏）

りとされました。そのうえガス・水道が完備され、水洗トイレに風呂が備わった機能的な居住空間は憧れの的であったと言います。建物の形状から、2 階建てのテラスハウスや上から見ると星形をしているスターハウスが人気でした。一方で当時の地元の新聞記事を見ると、居住者の子どもの声として「狭い」「大きな声でしゃべれない」「夜水洗トイレを流せない」などの団地住まいの現実的な声が載っています。

公団はその後 UR 都市整備機構となり、建物の老朽化から各地で建て替えが進みました。新所沢団地も、平成元（1989）年から順次建て替えが進み、今ではすっかり建て替えが完了し新たな時代を迎えています。

※ 団地は住宅や工場などが計画的に集団をなして建てられている土地のことを言います。

## 民俗資料館へ 行ってみませんか！

### < 山口民俗資料館 >

※ハタシと呼ばれる高機<sup>たかばな</sup>、イトグルマなど、織物器具を中心に、山口地区の農具や民具を展示しています。

所在地 所沢市山口 1529-10

TEL 04-2922-2004（開館日のみ）

開館日 第 1 日曜日、第 2・4 木曜日、第 3 土曜日

開館時間 午前 9 時から午後 4 時 30 分

※駐車場は 3 台分しかありませんので、

公共交通機関をご利用ください。

ホームページ  
はこちら



今回は、山口民俗資料館のご紹介



（次回は柳瀬民俗資料館）

➡詳細は所沢市ホームページをご参照ください。